

今井館によみがえる
内村鑑三の至言

内村鑑三の カノン

—デンマーク国と最大遺物—

『デンマーク国の話』『後世への最大遺物』
オルガン演奏と紡ぐ内村鑑三物語

2015年 4月25日(土)/ 26日(日)/27日(月)

出演：辰巳次郎、有村香寿美、内田光音(オルガン演奏) 脚本：石川泰彦 演出：新見真琴 制作：吉岡孝子
曲目：バッハ「主よ人の望みの喜びよ」 バッヘルベルのカノン 他

【日時】 2015年4月25日(土) 午後6時開演 / 26日(日) 午後3時開演 / 27日(月) 午後3時開演 *開場は、各30分前
【会場】 今井館 目黒区中根1-14-9 東急東横線「都立大学駅」下車、徒歩約10分 <http://www.imaikankyoyukai.or.jp>
【料金】 前売り券 3000円 当日券 3500円 (H時指定、全自由席)
【チケット申込】 TEL: 070-1499-7077 主催: YUKIプロデュース 後援: よこすか未来塾 宣伝美術: 進士達

内村鑑三の カノン

今井館によみがえる 内村鑑三の至言

— 名曲の音色と共に今再び内村の言葉に命を宿す。
未来へと繋がる光と信じて。 —

内村鑑三は私たちに易しく教えてくれた。戦争に敗れながら(1864「シレースビス戦争」)むしろ豊かさを手に入れたデンマークの話。そして彼は軽やかに説いた。人間が、後世に残すべきものは何なのかを。財産、事業、教育、思想、そして…。当時の日本の流れに抗した内村鑑三の誠実さ、そして勇氣。そこには多くの問題をはらむ100年後の現在にも、色あせることのない至言が尽くされていた。

私たちは望む、内村鑑三との再びの出会い。

曲目 バッハ「主よ人の望みの喜びよ」
バッヘルベルのカノン 他



内村鑑三 (1861年-1930年)

W.S.クラークの影響の残る札幌農学校で、新渡戸稲造らと共にキリスト教に入信、渡米後アマスト大学在学中に聖書信仰を得た。帰国後、教育勸諭不敬事件、尾尾越毒反対運動、非戦論など、信仰に基づく言論で多くの人々に影響を与えた。制度・組織に縛られない無教会主義を主張、キリスト教独立伝道者として生涯を送った。



今井館

1907年に、大阪の香料商・今井樟太郎の遺志に基づき、妻信子により内村鑑三に献じられた建物。内村鑑三は、柏木(現新宿区北新宿)の自邸内に建てられたこの講堂において、終生聖書の真理を説き続けた。没後5年目、区画整理の対象となり目黒区中根の現在地に移転。1986年には図書館資料センター(現資料館別館)が増設、2003年には資料館が新築され、現在に至る。



【出演】辰巳 次郎

神戸市出身。
学生演劇から劇団東演の俳優養成所を経て、正劇団員になる。37年間在籍し活躍、海外公演他多数地方公演にも参加している。現在は劇団を退団しフリーで活動。

主な舞台出演作「成功を祈るよ」「結婚の申し込み」「どん底」「ロミオとジュリエット」「部屋」等。

又、舞台監督や演出、才能は多岐に渡る。テレビ出演も多数。若手俳優の養成にも携わっている。演劇経験を請われ、各地の劇場作りも担う。(中目黒ウッディーシアター、東松原ブローダーハウス等)

その人柄から醸し出される味と存在感、幅の広い演技力には定評があり、真の演劇人として人望も厚い。

脚本：石川泰彦 演出：新見真琴 制作：吉岡孝子



【オルガン演奏】内田 光音

12歳からオルガンをはじめ、現在東京芸術大学音楽学部器楽科オルガン専攻学部2年在学中。これまでにオルガンを大平健介、浅井寛子、廣江理枝、チェンバロを廣沢麻美、通奏低音を椎名雄一郎各氏に師事。アンサンブル室町団員、カトリック板橋教会、カトリック東金教会、日本基督教団筑波学園教会オルガニスト。



【出演】有村 香寿美 (劇団若草)

東京都出身。平成26年4月、劇団若草に入団。震災復興支援プロジェクト「黄昏の部屋」(盛岡公演)にて初舞台。その後も劇団において様々な作品に挑戦し続けている。芝居を愛する真面目さと、時にユーモラスで温かなキャラクターは、今後展望がある注目の女優である。

主催：YUKIプロデュース 後援：よこすか未来塾 宣伝美術：進士通

- 【日 時】 2015年4月25日(土) 午後6時開演
26日(日) 午後3時開演 / 27日(月) 午後3時開演
*開場は、各30分前
- 【会 場】 今井館 目黒区中根1-14-9
東急東横線「都立大学駅」下車、徒歩約10分
<http://www.imaikankyoyukai.or.jp>
- 【料 金】 前売り券 3000円 当日券 3500円 (日時指定、全自由席)
- 【チケット申込】 TEL: 070-1499-7077

